

THE KŌHŌ NANKOKU



南國時報

第 7 6 号

昭和41年 4月30日

編集発行
南国市広報委員会

事務所
高知県南国市役所内
(電 2111)

印刷 川比印刷株式会社
(電 3151・有線155-11)



夢を

画いて

農家の換金作物として、かなり普及しているもの一つに、「たばこ」があります。
ところが市における「たばこ」の出荷成績は、耕作農家の努力によって相当な好成績をおさめているようです。
ことしも一獲千金の夢を画いて小さな苗をいそがしく定植していました。|| 国府比江にて ||

4月の人口

= 3月の異動 =

出生	32	死亡	43
転入	212	転出	155
3月末の人口	42,477		
世帯数	11,378		
3月末	11,378		

国がさかえるも、おとろえるも何かの原因がある。一例をあげると現在アメリカは世界各國が認める世界第一流國である。或る人は國が広いからだ、或る人は資源が豊富であるからだ、或る人は世界各國から意気にもえた人々が集まって國を作ったからだ、なかなかそれぞれ意味ある理くつである。然し何といつても教育のある者が國を作ったことが第一の原因である。アメリカインディアンは現在のアメリカ大陸に大昔から住みながら、鉄の作り方さえ知らずに白人に征服された。豊富な資源があれども教育がなかった。日本は國はせまく資源はないが優秀な資源を持つ一億の人がいる。これに世界の教育を施せば必ず日本は世界の第一の國になる。資源も、まては地中から掘り出したが、これからは頭から掘り出す時代である。

